

生徒指導通心



2020.4 第3号
生徒指導主任

コロナウィルスの影響が続く中で、2回目の個別登校日です。本来なら始業式より約15日程度登校していて、先生たちも少しずつ皆さんの事を分かり出す頃です。また家庭訪問も始まり、家庭での様子や学校での悩み事を保護者の人たちとも話できるところですが、ほんの15分程度しか皆さん一人ひとりと話すことができません。どの先生も全員のことを心配しています。15分の与えられた機会は、しっかり自分の言いたいことを伝える時間としましょう。また外出自粛でインターネット等を利用する時間が増えていると思います。今回の生徒指導通心はネットモラルについて考えてみたいと思います。

【「インターネットの約束5か条」～基本に忠実になり、正しい使い方を!!～】

本来なら、外部より講師先生を呼んで、情報マナーやモラルの勉強をしてもらう予定ですが、コロナウィルスの影響でみんな揃っての勉強はできません。しかし、この臨時休業中は毎日のように、遊びに勉強に情報機器を使用しているはず。インターネットは、さまざまな情報を収集したり、SNSやメールなどでコミュニケーションをとったりと、大変便利なものです。しかしその反面、インターネットの使い方を誤ると、簡単に人を傷つけてしまったり、人から傷つけられてしまったりする場合があります。今後の社会では必ず付き合っていくインターネットの基本を、トラブルを起こさないため、トラブルの被害に遭わないために、もう一度確認しておきましょう。



第1条 個人情報^{こじんじょうぎ}は容易^{やす}に公開^{こうかい}しない

インターネットを手軽に楽しめるため、つい自分の名前や写真、今いる場所など、個人を特定できる情報をインターネット上に公開してしまいがち。インターネット上に情報を公開することは、全世界に情報を配信していることと同じである認識を持ってください!!

第3条 著作権^{ちやくさくけん}や肖像権^{しやうしやうけん}に注意する

ほかの人のサイトなどに書かれている内容や、ほかの人の写真などを、自分の情報としてインターネットに掲載^{けいさい}しない。「著作権^{ちやくさくけん}」や「肖像権^{しやうしやうけん}」を侵害^{しんがい}することになります。親しい間柄^{あいだがら}だとしても、許可なく使用することはやめましょう。

第5条 送信前の相手や内容の確認

メールを受け取る相手の気持ちになって文章を書く

メールは、リアルタイムで相手の反応を見ながらコミュニケーションを取ることができません。そのため、ちょっとした一言が相手を傷つけてしまう危険性もあります。手紙を書くときと同じように、相手の立場^{たてばた}に立って適切な表現を使うようにしましょう。

第2条 ほかの人が不快^{ふかい}に思うことはしない

自分のことを隠したまま利用することができます。自分だということがばれないからといって、乱暴な言葉づかいになってしまったり、嘘^{うそ}の情報を書き込んだりすることはやめましょう。書き込んだ内容やちょっとした意見のすれ違いから、「炎上」の原因になります!

第4条 セキュリティソフトの導入

知らない相手からのメッセージに書かれているURLは開かない

メッセージに記載されているURLは、フィッシング詐欺^{さぎ}の可能性もあるかもしれません。

日本の知り合いから英語のメッセージが届いたら注意する

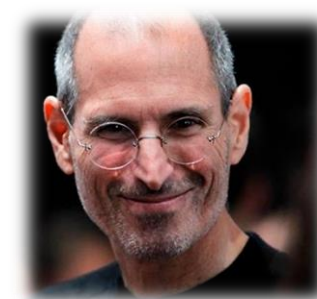
知り合いからのメッセージでも、いつもと違う雰囲気^{ふんいき}の文章の場合は、「なりすまし」かもしれません。

Steve Jobs (スティーブ・ジョブズ) (1955年～2011年)

“もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか?”

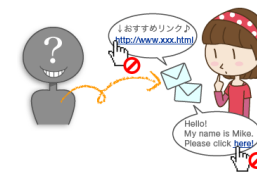
If today were the last day of my life, would I want to do what I am about to do today?”

今コロナウィルスの影響で、やる気が起こらない人も多いでしょう。携帯電話を普及させた、アップルのスティーブ・ジョブズも、携帯電話を触る時間より、携帯電話を発展させる皆さんの勉強の時間を期待していると思います。



【ネットトラブル多発中!!～巻き込まれる可能性がある姿勢で!!～】

インターネット回線に接続されている電子機器は、全世界の人が見ることができるものだという認識を失ってはいけません。また顔を見ずに、声も聞かずにやり取りをするメールは、反応が文字だけでは、感情が伝わりにくいものです。それから、セキュリティ管理が難しいのもインターネット環境の特徴でもあります。普段よりもより一層注意し、上手にインターネットを使いこなしましょう。以下では紀伊中学校や社会全般でトラブルになっている例を提示します。自分の事だと思い、もう一度使用方法を見直しましょう。



紀伊中学校ネットトラブル

- ① LINE や SNS 内での行き違い
- ② 不適切動画の投稿
- ③ 過度なオンラインゲーム課金
- ④ ネットゲーム依存
- ⑤ 有料サイトへのアクセス被害

社会でのネットトラブル

- ① ネット上で知り合った男性からの被害
- ② 自撮り画像の拡散(男女共)
- ③ SNSの炎上
- ④ ネット詐欺被害
- ⑤ ネット内でのいじめ



【生徒指導からの連絡】和歌山県警察本部少年課の少年サポートセンターでは、電話・メールによる相談を受け

付けてくれています。困ったことがあり、学校に相談しにくい場合は、下記に連絡してください。

ヤングテレホン・いじめ110番 TEL: 073-425-7867 メールアドレス: e8205001@pref.wakayama.lg.jp

・電話の相談日時: 月曜から金曜日 9:00～17:45

QRコード・バーコードリーダー付携帯電話の場合右のQRコードからメールを送れます。

・メールの受信設定をしている場合は、パソコンからのメールが届くよう、設定を変更してください。

・夜間および土曜・日曜・祝日のメール相談は、受信のみとなります。

・メールの返信は遅くなることがあります。 ※少年サポートセンターでは、保護者の方からの相談も受け付けています。

【今後の予定】今後の学校運営状況は日に日に変化しております。学校からの連絡を繋がるようにして、学校のホームページ等で情報を収集しましょう!

※くれぐれも体調・健康管理は怠らず、毎日元気な姿を維持していきましょう!

コロナウィルス感染拡大防止のため、外出の自粛^{じしゅく}をみんなで守りましょう。

